

## 「地域住民生活等緊急支援のための交付金」事業について

### 1. 交付金の趣旨・概要

- (1) 本交付金は、地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って対応することや、地方が直面する構造的な課題への実効ある取組を通じた地方の活性化が目的。
- (2) 全国に「地域消費喚起・生活支援型」2,500億円、「地方創生先行型」1,700億円の計4,200億円が配分予定。
- (3) 交付金活用之际して、国が推奨する事業は例示されているが、どのような事業を実施していくかは、地方公共団体の判断に委ねられている。また、事業成果の計測、目標値の設定と効果検証など、従来の交付金制度には見られなかった事業・施策の実施責任を求められている点は特徴。

### 2. 2月補正予算のポイント

- (1) 倉吉市には、地域消費喚起・生活支援型103,000千円、地方創生先行型61,000千円が配分予定。
- (2) 「地域消費喚起・生活支援型」交付金では、スピード感ある景気回復を目的としたプレミアム付商品券の発行などを行い、「地方創生先行型」交付金では、倉吉市未来いきいき創生本部において検討し、平成27年度から速やかに着手できる事業を前倒しなどにより実施。
- (3) 地方創生先行型では1,700億円のうち300億円が未配分。上乘せ配分は、補正予算計上に基づく事業計画に掲載し、かつ広域での連携性が考慮されることから、県や圏域での連携事業であるギンザケ稚魚生産拡大事業や地域資源観光活用事業、企業立地促進補助金などを平成27年度予定事業から前倒して計上。
- (4) 交付金対象事業の一括計上について
  - ・交付金の大きな目的は、地域の活性化であるため、対象事業は2款1項7目企画費に整理。
  - ・交付金対象事業は、ほぼ全額が繰越される予定。繰越後は予算補正ができないことから、交付金の有効活用のため、交付金対象事業をひとつの事業として整理。

### 3. 「地域住民生活等緊急支援のための交付金」2月補正予算計上額

(1) 地域消費喚起・生活支援型	予算額120,764千円	対象経費119,814千円
(2) 地方創生先行型	予算額429,085千円	対象経費394,346千円
(3) 交付金合計額	予算額549,849千円	対象経費514,160千円
	(詳細は主な事業説明シートのとおり)	

※「倉吉市未来いきいき創生本部」部会構成における「地方創生先行型」交付金対象計上額は裏面のとおりに記載されています。